

令和7年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人Wake Up Japan

1. 事業成果

オンラインと対面での活動実施を通し、様々なステークホルダーとの協働が生まれた。エシカルとサステイナビリティプロジェクトでは、葉山町の事業者との連携が進みました。移民難民と共に生きる社会を育むプロジェクトでは、京都と福井へのフィールドワーク、鎌倉にあるアルペなんみんセンターでのボランティアなど積極的に活動を行いました。東アジア平和大使プロジェクトでは、2025年に日本が戦後80年を迎えたことを機に、市民社会から集めた平和の声を『戦後80年市民談話』として発行した。また、2025年12月には新たに対話の実験室事業を開始し、より多様な社会問題に対してアプローチの幅を広げるようになった。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① シティズンシップ教育事業

ア シティズンシップ啓発出前授業事業

- ・内容 学校や企業、市民団体向けに講師派遣の実施
- ・日時 2025年4月-2026年3月
- ・場所 東京都、神奈川県、オンライン
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 高校生から40代までの99名
- ・支出額 0円

イ CHANGE 事業

- ・内容 若者や学生世代を対象に社会を変えるためのリーダーシップ開発研修の実施
- ・日時 2025年4月-2026年3月
- ・場所 東京都、神奈川県、オンライン
- ・従事者人員 3人
- ・対象者 子ども、若者中心に30名
- ・支出額 6,300円

② 社会正義事業

ア 移民難民と共に生きる社会を育むプロジェクト

- ・内容 移民難民との共生社会を育むためのイベント、教材作成ボランティアを実施
- ・日時 2025年4月-2026年3月
- ・場所 東京都、神奈川県、京都府、福井県、オンライン
- ・従事者人員 7人
- ・対象者 子ども、若者中心に78名
- ・支出額 0円

イ エシカルとサステイナビリティ事業

- ・内容 エシカルやサステイナビリティについて、イベントの開催やフェアトレード商品の輸入販売を通じて日常から考える機会の提供
- ・日時 2025年4月-2026年3月
- ・場所 オンライン
- ・従事者人員 3人
- ・対象者 子ども、若者中心に316名
- ・支出額 159,037円

ウ 社会を変えるムーブメント

- ・内容 SDG4教育キャンペーン、世界食料デー月間などNPOによる啓発キャンペーンに参加
- ・日時 2025年4月-2026年3月
- ・場所 オンライン

- ・従事者人員 1人
- ・対象者 子ども、若者中心に 234名
- ・支出額 4,780円

③アライアンス・ビルディング事業

ア セルフケア事業

- ・内容 非暴力コミュニケーションやウェルビーイングに関する研修の実施。
- ・日時 2025年4月-2026年3月
- ・場所 オンライン
- ・従事者人員 1人
- ・対象者 5名
- ・支出額 0円

イ 東アジア平和大使プロジェクト

- ・内容 東アジアの平和構築を目的としたイベントを連続的に実施。『戦後80年市民談話』を発行し、内閣府に提出する等、平和教育普及活動などを実施。
- ・日時 2025年4月-2026年3月
- ・場所 東京都、神奈川県、オンライン
- ・従事者人員 4人
- ・対象者 若者中心に 142名
- ・支出額 229,402円

ウ 現地調査訪問事業

- ・内容 アメリカや韓国の市民運動を学ぶために現地調査を実施
- ・日時 2025年4月-2026年3月
- ・場所 アメリカ、韓国、オンライン
- ・従事者人員 1人
- ・対象者 16名
- ・支出額 76,050円

エ 大地と地球事業

- ・内容 藤沢市にあるさんかく農園を訪れ農業体験を通じて、食と農、社会を考えるイベントを開催した。また、横須賀市にある Sho Farmなどを訪問し、農業と人とのつながりについての理解を深めた。
- ・日時 2025年4月-2026年3月
- ・場所 神奈川県、千葉県
- ・従事者人員 4人
- ・対象者 子ども、若者中心に 60名
- ・支出額 0円

オ 対話の実験室事業

- ・内容 日本社会における社会構造から生まれる疑問について社会問題に関心のある参加者と対話イベントを実施。
- ・日時 2025年12月-2026年3月
- ・場所 オンライン
- ・従業者人員 3名
- ・対象者 若者を中心に 4名
- ・支出額 0円

カ YouthCan

- ・内容 10代の子どもや若者の社会問題への行動を促すためのイベント開催や個別相談内容を実施
- ・日時 2025年4月-2026年3月
- ・場所 東京都、大阪府、オンライン
- ・従業者人員 1名
- ・対象者 若者を中心に 574名
- ・支出額 20,000円